

日本語弁論大会優勝者来福 報告

2024.11.24 作成(事務局:福松)

【経緯と目的】

平成 25 年(設立年)より 5 年間、福岡大学名誉教授 横山正幸先生が代表を務める「カンボジアの子ども達の 教育を支援する会」の活動の一部を、西日本・カンボジア友好協会前会長 八頭司 正典氏の御寄附によって支援していた。(現在は八頭司前会長の寄付によって支援されていた一部の活動のみを西日本・カンボジア友好協会にて継続して支援する事となった。)

支援の一環として王立プノンペン大学が行っている日本語弁論大会の優勝者に福岡へ来日してもらい、企業見学等を通じて日本の経済・文化を肌で感じてもらう。

① 来福者

★ソン・ソワンカオリ氏 (2023 年度優勝者) … 現在、愛知県の南山大学に留学中

★リム・ヨンハイ氏 (2024 年度優勝者) … 現在、徳島県の四国大学に留学中



左:ソワンカオリ氏 右:ヨンハイ氏

② 来福期間

2024 年 11 月 22 日(金)~11 月 24 日(日)

③ 活動内容

【11/22】夜の便にて福岡に到着

【11/23】

★新日本製薬株式会社 物流センター視察



★太宰府天満宮観光



【11/24】

★日本語弁論大会優勝者を囲む昼食会





昼食会後、それぞれの留学先へ…✈

【所感】

- ・来福者 2 名の日本語のレベルはとても高く、我々の話す内容はほとんど理解しているようだった。また 2 名はクメール語や日本語以外の言語も話せるトリリンガル・マルチリンガルで、日本人の言語習得との違いを感じた。
- ・新日本製薬株式会社様の物流センターの視察では、会社説明を質問や感想を交えながら真剣に聞いている様子や、センター内を興味を持って見学している様子が印象的だった。
- ・昼食会では、参加者と和気あいあいと交流している様子だった。参加者からの質問に丁寧に答えており、交流をととても楽しんでいただようだった。

来福者 2 名はとても礼儀正しく、日本・福岡の経済や文化に敬意を持っているのだと感じた。2 人とも声を揃えて「また必ず福岡に戻ってきます」と言い、それぞれの留学先に戻った。来福者にとって、とても有意義で実りある時間になったと感じた言葉であった。西日本・カンボジア友好協会として、今後もこのつながりを大切にしていきたい。